

愛称：群馬の絹遺産 富岡製糸場・絹産業遺産群保護活動応援ファンド

マンスリーレポート

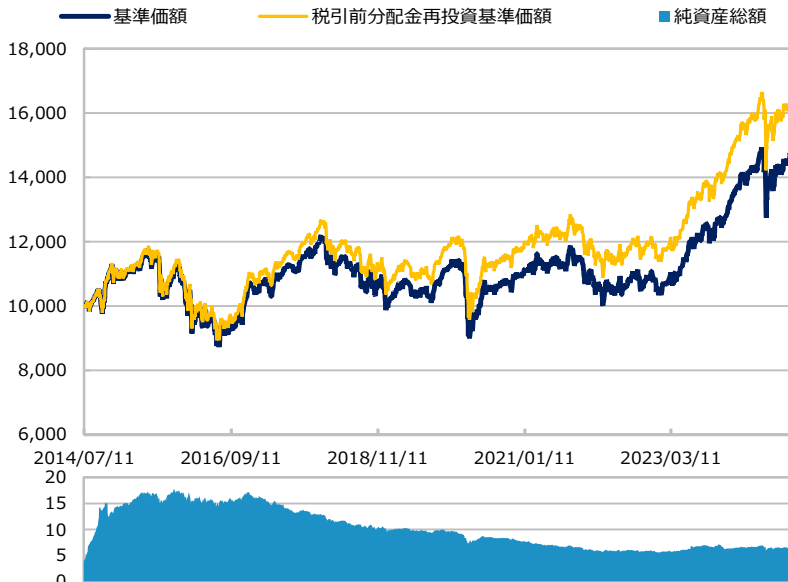
【投信協会商品分類】 追加型投信／内外／資産複合

作成基準日：2024年12月30日

ファンド設定日：2014年07月14日

日経新聞掲載名：群馬の絹遺産

基準価額・純資産総額の推移（円・億円）



- グラフは過去の実績を示したものであり将来の成果をお約束するものではありません。
- 基準価額は信託報酬控除後です。信託報酬は後述の「ファンドの費用」をご覧ください。

基準価額・純資産総額

	当月末	前月比
基準価額（円）	14,806	+418
純資産総額（百万円）	654	+9

■ 基準価額は10,000口当たりの金額です。

騰落率（税引前分配金再投資）（%）

	基準日	ファンド
1 カ月	2024/11/29	2.9
3 カ月	2024/09/30	5.1
6 カ月	2024/06/28	1.6
1 年	2023/12/29	16.8
3 年	2021/12/30	37.6
設定来	2014/07/14	65.5

- ファンドの騰落率は税引前分配金を再投資した場合の数値です。
- ファンド購入時には購入時手数料、換金時には税金等の費用がかかる場合があります。
- 騰落率は実際の投資家利回りとは異なります。

最近の分配実績（税引前）（円）

期	決算日	分配金
第37期	2023/10/04	30
第38期	2024/01/04	30
第39期	2024/04/04	30
第40期	2024/07/04	30
第41期	2024/10/04	30
設定来累計		1,230

※ 分配金は10,000口当たりの金額です。過去の実績を示したものであり、将来の分配をお約束するものではありません。

資産構成比率（%）

	当月末	前月比
群馬関連日本株マザー	52.8	-0.2
先進国ソブリン債券マザー	23.4	-0.3
新興国ソブリン債券マザー	23.5	-0.0
現金等	0.3	+0.5
合計	100.0	0.0

- ※ 群馬関連日本株マザーの正式名称は「群馬関連日本株マザーファンド」です。
- ※ 先進国ソブリン債券マザーの正式名称は「先進国ソブリン債券マザーファンド」です。
- ※ 新興国ソブリン債券マザーの正式名称は「新興国ソブリン債券マザーファンド」です。

基準価額の変動要因（円）

	寄与額
群馬関連日本株マザー	+233
先進国ソブリン債券マザー	+80
新興国ソブリン債券マザー	+123
為替	0
分配金	0
その他	-18
合計	+418

※ 基準価額の月間変動額を主な要因に分解したもので概算値です。

※ この資料の各グラフ・表に記載されている数値は、表示桁未満がある場合は四捨五入して表示しています。

※ この資料に記載されている構成比を示す比率は、注記がある場合を除き全てファンドの純資産総額を100%として計算した値です。

最終ページの「当資料のご利用にあたっての注意事項」を必ずご覧ください。

■ 設定・運用



市場動向

円/アメリカドル (円)



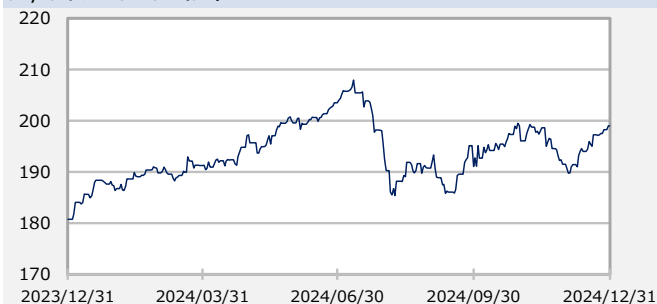
当月末：158.2 前月末：150.7 騰落率：4.9%

円/メキシコペソ (円)



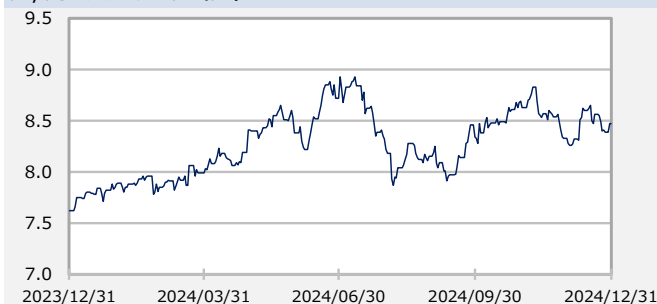
当月末：7.8 前月末：7.4 騰落率：5.4%

円/イギリスポンド (円)



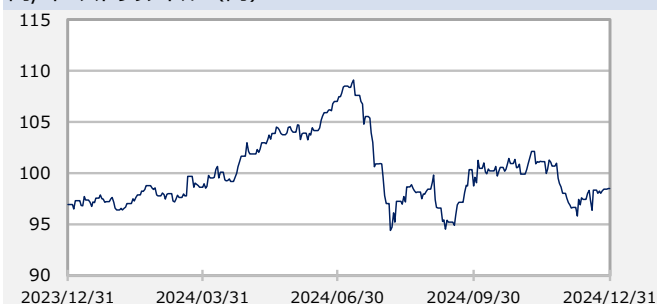
当月末：199.0 前月末：191.5 騰落率：3.9%

円/南アフリカランド (円)



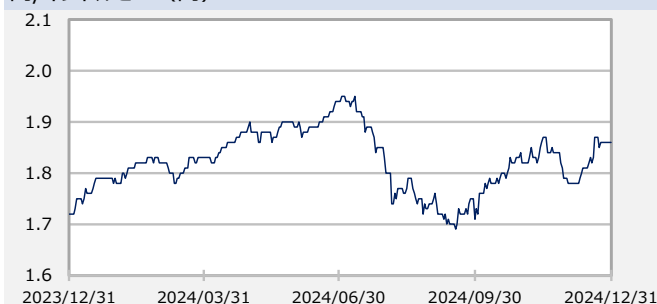
当月末：8.5 前月末：8.3 騰落率：1.7%

円/オーストラリアドル (円)



当月末：98.5 前月末：98.0 騰落率：0.5%

円/インドルピー (円)



当月末：1.9 前月末：1.8 騰落率：3.9%

※ 為替レートは一般社団法人 投資信託協会が発表する仲値 (TTM) です。
※ 作成時点のものであり、将来の市場環境の変動等をお約束するものではありません。

最終ページの「当資料のご利用にあたっての注意事項」を必ずご覧ください。

■ 設定・運用



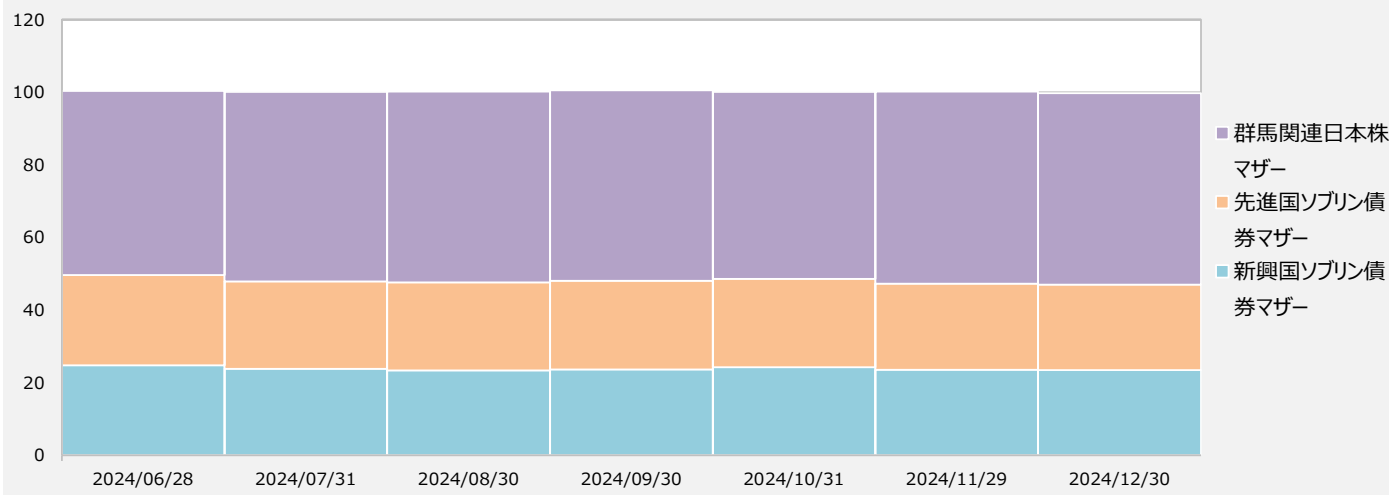
愛称：群馬の絹遺産 富岡製糸場・絹産業遺産群保護活動応援ファンド

マンスリー・レポート

【投信協会商品分類】 追加型投信／内外／資産複合

作成基準日：2024年12月30日

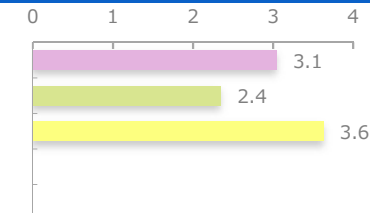
資産構成比率の推移（％）



組入投資信託の騰落率（％）

	1か月	3か月	6か月	1年	3年	設定来
群馬関連日本株マザー	3.1	6.6	6.8	27.3	60.7	180.2
先進国ソブリン債券マザー	2.4	2.5	-2.6	7.9	15.3	27.1
新興国ソブリン債券マザー	3.6	6.0	-1.8	11.3	39.2	10.7

当月騰落率（％）



※ 先進国ソブリン債券マザー、新興国ソブリン債券マザーの設定来は、当ファンドの設定日を基準に算出しています。

最終ページの「当資料のご利用にあたっての注意事項」を必ずご覧ください。

■ 設定・運用



愛称：群馬の絹遺産
富岡製糸場・絹産業遺産群保護活動応援ファンド

マンスリーレポート

【投信協会商品分類】 追加型投信／内外／資産複合

作成基準日：2024年12月30日

※ このページは「群馬関連日本株マザーファンド」の情報を記載しています。

資産構成比率 (%)

	当月末	前月比
株式	99.4	+1.0
プライム	81.2	+1.3
スタンダード	16.7	-0.5
グロース	1.5	+0.3
その他	0.0	0.0
先物等	0.0	0.0
現金等	0.6	-1.0
合計	100.0	0.0

組入上位10業種 (%)

	当月末	前月比
1 電気機器	19.5	+0.8
2 サービス業	13.1	+1.4
3 小売業	11.8	-0.4
4 化学	10.9	-0.5
5 金属製品	6.8	-0.0
6 建設業	6.3	+0.5
7 ガラス・土石製品	6.3	-0.8
8 銀行業	6.1	-0.2
9 食料品	4.0	-0.1
10 機械	2.8	-0.1

※ 業種は東証業種分類です。

組入上位10銘柄 (%)

(組入銘柄数 56)

銘柄	業種	比率
1 群馬銀行	銀行業	6.1
2 富士電機	電気機器	5.2
3 三和ホールディングス	金属製品	5.0
4 ヘルテクスコーポレーション	ガラス・土石製品	4.9
5 信越化学工業	化学	4.3
6 リクルートホールディングス	サービス業	4.2
7 良品計画	小売業	4.0
8 アドバンテスト	電気機器	3.7
9 リケンテクノス	化学	3.7
10 富士通	電気機器	3.3

※ このページに記載されている構成比を示す比率は、注記がある場合を除き全て組入マザーファンドの純資産総額を100%として計算した値です。

最終ページの「当資料のご利用にあたっての注意事項」を必ずご覧ください。

■ 設定・運用



※ このページは「群馬関連日本株マザーファンド」の情報を記載しています。

ファンドマネージャーコメント

<市場動向>

国内の株式市場は、上昇しました。上旬は、公的年金基金の利回り目標修正による需給改善期待、米政府による対中半導体輸出規制の内容が想定内であったこと、中国の景気対策の効果への期待を背景に上昇しました。中旬は、FOMC（米連邦公開市場委員会）において、利下げペースの鈍化が示唆されたことによる米株安を嫌気し、下落しました。下旬は、日銀の追加利上げ見送りによる米ドル高・円安の進行、自動車メーカーの大規模自社株買い発表や目標ROE（自己資本利益率）引き上げの報道を受けて、自動車株中心に上昇しました。

<運用経過>

利益率の改善を背景とした堅調な業績推移が予想される東鉄工業を割安と判断し、新たに購入しました。ベルテクスコーポレーションは一部、利益確定としました。

<市場見通しと今後の運用方針>

国内の株式市場は、レンジの動きを予想します。世界景気は、米国中心に底堅く推移すると予想します。米新政権が掲げる関税強化や、インフレ再燃などには注意が必要ですが、米利下げや中国の景気対策が下支えし、底堅く推移すると考えます。国内は、景気配慮型の政策が続くとみられるほか、持続的な賃上げなどが国内景気を支えと考えます。底堅い内外景気を背景に、企業業績も次年度に向けて改善基調で推移すると考えます。ただし、当面は、内外金融政策の動向や米新政権による政策などの不透明要因から、世界景気や企業業績の先行きを見極めていく局面と考え、株式市場は一進一退の展開を予想します。

※ 作成時点のものであり、将来の市場環境の変動等をお約束するものではありません。

最終ページの「当資料のご利用にあたっての注意事項」を必ずご覧ください。

■ 設定・運用



三井住友DSアセットマネジメント

Be Active.

愛称：群馬の絹遺産
富岡製糸場・絹産業遺産群保護活動応援ファンド

マンスリーレポート

【投信協会商品分類】 追加型投信／内外／資産複合

作成基準日：2024年12月30日

※ このページは「先進国ソブリン債券マザーファンド」の情報を記載しています。

資産構成比率 (%)

	当月末	前月比
債券	98.2	+0.2
先物等	0.0	0.0
現金等	1.8	-0.2
合計	100.0	0.0

ポートフォリオ特性値

	当月末	前月比
クーポン (%)	2.3	-0.0
残存年数 (年)	6.5	-0.3
デュレーション (年)	5.5	-0.2
直接利回り (%)	2.5	+0.0
最終利回り (%)	4.3	+0.2
平均格付け	AA+	AA+

- ※ 各組入銘柄の数値を加重平均した値です。
- ※ 格付けは投資債券に対する主要格付機関の格付けに基づいており、ファンドにかかる格付けではありません。
- ※ 上記は将来の運用成果をお約束するものではありません。

組入上位5通貨 (%)

	当月末	前月比
1 イギリスポンド	33.8	+0.8
2 アメリカドル	33.0	-0.6
3 オーストラリアドル	31.5	-0.0

組入上位5カ国・地域 (%)

	当月末	前月比
1 国際機関	34.6	+0.7
2 イギリス	33.8	+0.8
3 オーストラリア	19.2	+0.1
4 アメリカ	10.7	-1.4

種別構成比率 (%)

	当月末	前月比
国債	63.6	-0.5
州政府債	0.0	0.0
政府機関債	0.0	0.0
国際機関債	34.6	+0.7
社債	0.0	0.0
その他	0.0	0.0

格付構成比率 (%)

	当月末	前月比
AAA	64.4	-0.6
AA	33.8	+0.8
A	0.0	0.0
BBB	0.0	0.0
BB以下	0.0	0.0

組入上位10銘柄

(組入銘柄数 11)

銘柄	通貨	国・地域	クーポン (%)	残存年数 (年)	比率 (%)
1 UK GILT	イギリスポンド	イギリス	0.875	4.8	18.9
2 INTL FINANCE CORP	オーストラリアドル	国際機関	3.150	4.5	12.3
3 AUSTRALIAN GOVERNMENT	オーストラリアドル	オーストラリア	3.750	12.3	12.1
4 UK GILT	イギリスポンド	イギリス	1.500	1.6	10.0
5 INTER-AMERICAN DEVEL BK	アメリカドル	国際機関	2.250	4.5	9.4
6 EUROPEAN INVESTMENT BANK	アメリカドル	国際機関	2.375	2.4	8.9
7 US TREASURY N/B	アメリカドル	アメリカ	4.500	8.9	8.2
8 AUSTRALIAN GOVERNMENT	オーストラリアドル	オーストラリア	1.500	6.5	7.1
9 UK GILT	イギリスポンド	イギリス	1.500	22.6	4.8
10 INTL FINANCE CORP	アメリカドル	国際機関	2.125	1.3	4.0

※ このページに記載されている構成比を示す比率は、注記がある場合を除き全て組入マザーファンドの純資産総額を100%として計算した値です。

最終ページの「当資料のご利用にあたっての注意事項」を必ずご覧ください。

■ 設定・運用



※ このページは「先進国ソブリン債券マザーファンド」の情報を記載しています。

ファンドマネージャーコメント

<市場動向>

主要国債券市場では金利は上昇しました。米国では、月初は、経済指標が強弱入り混じる中、金利は横ばいで推移しました。その後、トランプ新政権の政策による財政悪化懸念から債券需給に対する不安が高まったことやインフレ上昇リスクなどから、金利は上昇しました。FOMC（米連邦公開市場委員会）では予想通り0.25%の利下げが実施されましたが、参加者による2025年利下げ見通しの中央値が4回から2回に下がったことなどから、金利はさらに上昇しました。ユーロ圏では、月初はフランスの政局混迷やECB（欧州中央銀行）の利下げ観測から金利は一旦低下したものの、フランスの政局混迷が一服すると金利は上昇しました。その後、ECBでは予想通り0.25%の利下げが実施されましたが、ラガルド総裁の会見がハト派（景気を重視する立場）的ではないと受け止められたことや米金利の上昇、ドイツ政局の不透明感などを受けて金利は上昇しました。

主要国為替相場は対円で上昇しました。米ドル/円は、月前半は、日銀が12月利上げを見送るとの報道が相次いだことから、米ドル高・円安の展開となりました。月後半は、日銀が実際に利上げを見送ったことに加えて植田総裁の会見がハト派的と捉えられたこと、米金利の上昇などから、さらに米ドル高・円安が進みました。ユーロ/円は、フランスの政局混迷やドイツの政局不安から一時的にユーロ安・円高となる局面はありましたが、日銀のハト派的姿勢や米ドル高・円安の展開などから、概ねユーロ高・円安の展開が続きました。

※ 作成時点のものであり、将来の市場環境の変動等をお約束するものではありません。

最終ページの「当資料のご利用にあたっての注意事項」を必ずご覧ください。

■ 設定・運用



三井住友DSアセットマネジメント

Be Active.

愛称：群馬の絹遺産
富岡製糸場・絹産業遺産群保護活動応援ファンド

マンスリーレポート

【投信協会商品分類】 追加型投信／内外／資産複合

作成基準日：2024年12月30日

※ このページは「新興国ソブリン債券マザーファンド」の情報を記載しています。

資産構成比率 (%)

	当月末	前月比
債券	93.9	+2.1
先物等	0.0	0.0
現金等	6.1	-2.1
合計	100.0	0.0

ポートフォリオ特性値

	当月末	前月比
クーポン (%)	7.0	+0.2
残存年数 (年)	3.3	-0.0
デュレーション (年)	2.7	-0.0
直接利回り (%)	7.1	+0.2
最終利回り (%)	7.6	+0.4
平均格付け	AAA	AAA

- ※ 各組入銘柄の数値を加重平均した値です。
- ※ 格付けは投資債券に対する主要格付機関の格付けに基づいており、ファンドにかかる格付けではありません。
- ※ 上記は将来の運用成果をお約束するものではありません。

組入上位5通貨 (%)

	当月末	前月比
1 南アフリカランド	33.9	+0.3
2 インドルピー	31.0	+0.7
3 メキシコペソ	29.0	+1.1

組入上位5カ国・地域 (%)

	当月末	前月比
1 国際機関	93.9	+2.1

種別構成比率 (%)

	当月末	前月比
国債	0.0	0.0
州政府債	0.0	0.0
政府機関債	0.0	0.0
国際機関債	93.9	+2.1
社債	0.0	0.0
その他	0.0	0.0

格付構成比率 (%)

	当月末	前月比
AAA	93.9	+2.1
AA	0.0	0.0
A	0.0	0.0
BBB	0.0	0.0
BB以下	0.0	0.0

組入上位10銘柄

(組入銘柄数 3)

銘柄	通貨	国・地域	クーポン (%)	残存年数 (年)	比率 (%)
1 EUROPEAN INVESTMENT BANK	南アフリカランド	国際機関	8.000	2.3	33.9
2 INTER-AMERICAN DEVEL BK	インドルピー	国際機関	7.350	5.8	31.0
3 INTL FINANCE CORP	メキシコペソ	国際機関	7.000	2.6	29.0

※ このページに記載されている構成比を示す比率は、注記がある場合を除き全て組入マザーファンドの純資産総額を100%として計算した値です。

最終ページの「当資料のご利用にあたっての注意事項」を必ずご覧ください。

■ 設定・運用



※ このページは「新興国ソブリン債券マザーファンド」の情報を記載しています。

ファンドマネージャーコメント

<市場動向>

新興国債券相場では金利は一進一退となりました。月前半は、新興国での利下げ開始や利下げサイクルの進展が意識されたことなどから金利は低下基調となりました。その後は、米国の金利が大きく上昇したことを背景にグローバルに金利上昇圧力が高まり、新興国の金利は上昇しました。

新興国の為替相場は上昇しました。日銀による利上げの見送りやハト派（景気を重視する立場）姿勢から円安が進行し、新興国通貨は対円で上昇しました。

※ 作成時点のものであり、将来の市場環境の変動等をお約束するものではありません。

最終ページの「当資料のご利用にあたっての注意事項」を必ずご覧ください。

■ 設定・運用



三井住友DSアセットマネジメント

Be Active.

ファンドの特色

1. マザーファンドへの投資を通じて、主として日本株式と世界債券へ分散投資することにより、利息・配当収益の確保と信託財産の長期的な成長を目指します。
 - 当ファンドは、「群馬関連日本株マザーファンド」、「先進国ソブリン債券マザーファンド」および「新興国ソブリン債券マザーファンド」を主要投資対象とするファミリーファンド方式で運用を行います。
 - 日本株式と世界債券の投資配分は、それぞれ概ね50%程度を基本資産配分とします。
 - ※ 実質組入有価証券の値動きや資金流入などによっては、日本株式と世界債券の投資配分が基本資産配分から乖離する場合があります。また、上記基本資産配分は、市場動向等を勘案し変更する場合があります。
 2. 実質組入外貨建資産については、原則として為替ヘッジは行いません。
 3. 年4回の分配を目指します。
 - 毎年1、4、7、10月の4日（休業日の場合は翌営業日）を決算日として、毎決算日に分配を目指します。
 - 委託会社の判断により分配を行わない場合もあるため、将来の分配金の支払いおよびその金額について保証するものではありません。
- ※ 資金動向、市況動向等によっては、あるいはやむを得ない事情が発生した場合などには、上記のような運用ができない場合があります。
- ※ お客様にご負担いただいた運用管理費用（信託報酬）の一部を『富岡製糸場と絹産業遺産群』保護のために寄付をします。
 - 当ファンドの販売会社および委託会社は、收受した運用管理費用（信託報酬）の一部（それぞれ運用管理費用（信託報酬）率のうち年率0.1%程度）を『富岡製糸場と絹産業遺産群』保護のために寄付をします。
 - 寄付先および寄付金額の具体的内容については、運用報告書等において開示いたします。

投資リスク

基準価額の変動要因

- 当ファンドは、値動きのある有価証券等に投資しますので、基準価額は変動します。したがって、投資者の投資元本は保証されているものではなく、基準価額の下落により、損失を被り、投資元本を割り込むことがあります。
- 運用の結果として信託財産に生じた利益および損失は、すべて投資者に帰属します。
- 投資信託は預貯金と異なります。また、一定の投資成果を保証するものではありません。
- 当ファンドの主要なリスクは以下の通りです。

■ 株式市場リスク

【株価の下落は、基準価額の下落要因です】

内外の経済動向や株式市場での需給動向等の影響により株式相場が下落した場合、ファンドの基準価額が下落する要因となります。また、個々の株式の価格はその発行企業の事業活動や財務状況等によって変動し、株価が下落した場合はファンドの基準価額が下落する要因となります。

■ 債券市場リスク

【債券の価格の下落は、基準価額の下落要因です】

一般に債券は内外の経済情勢等の影響による金利の変動を受けて価格が変動します。通常、金利が上昇すると債券価格は下落します。また、格付けが引き下げられる場合も債券価格が下落するおそれがあります。債券価格の下落はファンドの基準価額が下落する要因となります。なお、価格の変動幅は、債券の種類、格付け、残存期間、利払いのしくみの違い等により、債券ごとに異なります。

■ 信用リスク

【債務不履行の発生等は、基準価額の下落要因です】

ファンドが投資している有価証券や金融商品において債務不履行が発生あるいは懸念される場合、またはその発行体が経営不安や倒産等に陥った場合には、当該有価証券や金融商品の価格が下がったり、投資資金を回収できなくなったりすることがあります。これらはファンドの基準価額が下落する要因となります。



投資リスク

■ 為替変動リスク

【円高は基準価額の下落要因です】

外貨建資産への投資は為替変動の影響を受けます。ファンドが保有する外貨建資産の価格が現地通貨ベースで上昇する場合であっても、当該現地通貨が対円で下落する（円高となる）場合、円ベースでの評価額が下落し、基準価額が下落することがあります。

■ カントリーリスク

【投資国の政治・経済等の不安定化は、基準価額の下落要因です】

海外に投資を行う場合には、投資先の国の政治・経済・社会状況の不安定化、取引規制や税制の変更等によって投資した資金の回収が困難になることや、その影響により投資する有価証券等の価格が大きく変動することがあり、基準価額が下落する要因となります。

特に投資先が新興国の場合、その証券市場は先進国の証券市場に比べ、より運用上の制約が大きいことが想定されます。また、先進国に比べ、一般に市場規模が小さいため、有価証券の需給変動の影響を受けやすく、価格形成が偏ったり、変動性が大きくなる傾向が考えられます。

■ 流動性リスク

【市場規模の縮小・取引量の低下により、不利な条件での取引を余儀なくされることは、基準価額の下落要因です】

有価証券等を大量に売買しなければならない場合、あるいは市場を取り巻く外部環境に急激な変化があり、市場規模の縮小や市場の混乱が生じた場合等に、十分な数量の売買ができなかったり、通常よりも不利な価格での取引を余儀なくされることがあります。これらはファンドの基準価額が下落する要因となります。

その他の留意点

- 分配金は、預貯金の利息とは異なり、ファンドの純資産から支払われますので、分配金が支払われると、その金額相当分、基準価額は下がります。
- 分配金は、計算期間中に発生した収益（経費控除後の配当等収益および評価益を含む売買益）を超えて支払われる場合があります。その場合、当期決算日の基準価額は前期決算日と比べて下落することになります。また、分配金の水準は、必ずしも計算期間におけるファンドの収益率を示すものではありません。
- 投資者のファンドの購入価額によっては、分配金の一部または全部が、実質的には元本の一部払戻しに相当する場合があります。ファンド購入後の運用状況により、分配金額より基準価額の値上がり幅が小さかった場合も同様です。
- 当ファンドの実質的な資産配分は、基本的な資産配分比率と乖離を生じる場合があります。この結果、運用成果は、基本資産配分で運用を行った場合を上回ったり下回ったりすることがありますので、ご注意ください。
- ファンドは、大量の解約が発生し短期間で解約資金を手当てする必要が生じた場合や主たる取引市場において市場環境が急変した場合等に、一時的に組入資産の流動性が低下し、市場実勢から期待できる価格で取引できないリスク、取引量が限られてしまうリスクがあります。これにより、基準価額にマイナスの影響を及ぼす可能性、換金申込みの受け付けが中止となる可能性、既に受け付けた換金申込みが取り消しとなる可能性、換金代金のお支払いが遅延する可能性等があります。

お申込みメモ

購入単位

お申込みの販売会社にお問い合わせください。

購入価額

購入申込受付日の翌営業日の基準価額

購入代金

販売会社の定める期日までにお支払いください。

換金単位

お申込みの販売会社にお問い合わせください。

換金価額

換金申込受付日の翌営業日の基準価額

換金代金

原則として、換金申込受付日から起算して5営業日目からお支払いします。

信託期間

無期限（2014年7月14日設定）

決算日

毎年1月、4月、7月、10月の4日（休業日の場合は翌営業日）

収益分配

決算日に、分配方針に基づき分配を行います。委託会社の判断により分配を行わない場合もあります。

分配金受取りコース：原則として、分配金は税金を差し引いた後、決算日から起算して5営業日目までにお支払いいたします。

分配金自動再投資コース：原則として、分配金は税金を差し引いた後、無手数料で再投資いたします。

※販売会社によってはいずれか一方のみの取扱いとなる場合があります。

課税関係

- 課税上は株式投資信託として取り扱われます。
- 公募株式投資信託は税法上、一定の要件を満たした場合に限りNISA（少額投資非課税制度）の適用対象となります。
- 当ファンドは、NISAの対象ではありません。
- 配当控除および益金不算入制度の適用はありません。

お申込不可日

以下のいずれかに当たる場合には、購入・換金のお申込みを受け付けません。

- ロンドンの銀行の休業日
- ニューヨークの銀行の休業日



ファンドの費用

投資者が直接的に負担する費用

- 購入時手数料
購入価額に**3.30%（税抜き3.00%）を上限**として、販売会社毎に定める手数料率を乗じた額です。詳しくは販売会社にお問い合わせください。
- 信託財産留保額
ありません。

投資者が信託財産で間接的に負担する費用

- 運用管理費用（信託報酬）
ファンドの純資産総額に**年1.474%（税抜き1.34%）**の率を乗じた額です。
- その他の費用・手数料
以下のその他の費用・手数料について信託財産からご負担いただきます。
 - 監査法人等に支払われるファンドの監査費用
 - 有価証券の売買時に発生する売買委託手数料
 - 資産を外国で保管する場合の費用 等※上記の費用等については、運用状況等により変動するため、事前に料率、上限額等を示すことができません。

※ 上記の手数料等の合計額については、保有期間等に応じて異なりますので、表示することができません。

税金

分配時

所得税及び地方税 配当所得として課税 普通分配金に対して20.315%

換金（解約）及び償還時

所得税及び地方税 譲渡所得として課税 換金（解約）時及び償還時の差益（譲渡益）に対して20.315%

- ※ 個人投資者の源泉徴収時の税率であり、課税方法等により異なる場合があります。法人の場合は上記とは異なります。
- ※ 外国税額控除の適用となった場合には、分配時の税金が上記と異なる場合があります。
- ※ 税法が改正された場合等には、税率等が変更される場合があります。税金の取扱いの詳細については、税務専門家等にご確認されることをお勧めします。

委託会社・その他の関係法人等

委託会社	ファンドの運用の指図等を行います。 三井住友DSアセットマネジメント株式会社 金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第399号 加入協会：一般社団法人投資信託協会、一般社団法人日本投資顧問業協会、 一般社団法人第二種金融商品取引業協会 ホームページ： https://www.smd-am.co.jp コールセンター： 0120-88-2976 [受付時間] 午前9時～午後5時（土、日、祝・休日を除く）
受託会社	ファンドの財産の保管および管理等を行います。 三井住友信託銀行株式会社
販売会社	ファンドの募集の取扱い及び解約お申込の受付等を行います。

販売会社

販売会社名	登録番号	日本証券業協会	一般社団法人第二種金融商品取引業協会	日本一般社団法人投資顧問業協会	金融先物取引業協会	一般社団法人投資信託協会	備考
ぐんぎん証券株式会社	金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第2938号	○					
株式会社群馬銀行	登録金融機関 関東財務局長（登金）第46号	○			○		

当資料のご利用にあたっての注意事項

- 当資料は、三井住友DSアセットマネジメントが作成した販売用資料であり、金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。
- 当資料の内容は作成基準日現在のものであり、将来予告なく変更されることがあります。また、将来に関し述べられた運用方針・市場見通しも変更されることがあります。当資料は三井住友DSアセットマネジメントが信頼性が高いと判断した情報等に基づき作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。
- 当資料にインデックス・統計資料等が記載される場合、それらの知的所有権その他の一切の権利は、その発行者および許諾者に帰属します。
- 投資信託は、値動きのある証券（外国証券には為替変動リスクもあります。）に投資しますので、リスクを含む商品であり、運用実績は市場環境等により変動します。したがって元本や利回りが保証されているものではありません。
- 投資信託は、預貯金や保険契約と異なり、預金保険・貯金保険・保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。また登録金融機関でご購入の場合、投資者保護基金の支払対象とはなりません。
- 当ファンドの取得のお申込みにあたっては、販売会社よりお渡しする最新の投資信託説明書（交付目論見書）および契約締結前交付書面等の内容をご確認の上、ご自身でご判断ください。投資信託説明書（交付目論見書）、契約締結前交付書面等は販売会社にご請求ください。また、当資料に投資信託説明書（交付目論見書）と異なる内容が存在した場合は、最新の投資信託説明書（交付目論見書）が優先します。